

高校生の意識と生活に関するアンケート調査 報 告 書

令和6年 10 月
岩国市

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査目的.....	1
2	調査方法.....	1
3	報告書の見方.....	1
II	調査結果.....	2
1	属性.....	2
2	生活の満足度.....	3
	(1) 生活の満足度.....	3
3	将来への希望.....	3
	(1) 将来への希望の有無.....	3
4	相談について.....	4
	(1) 悩みごとの内容.....	4
	(2) 悩みごとを相談できる相手.....	5
	(3) 家族や知り合い以外に相談したい相手.....	6
5	子どもの居場所について.....	7
	(1) 子どもの居場所の利用状況.....	7
	(2) 子どもの居場所を利用したことによる変化.....	8

I 調査の概要

1 調査目的

子どもの生活習慣や家庭の状況等を把握し、今後の施策展開の基礎資料とすることを目的とするため。

2 調査方法

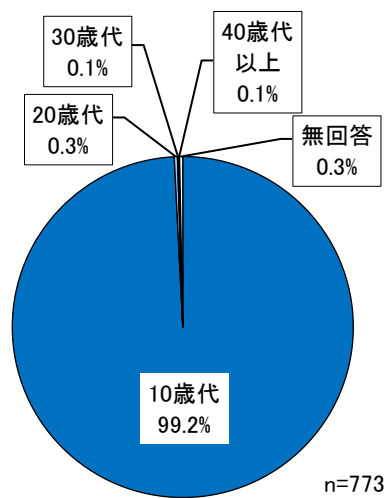
- | | |
|----------|---------------------|
| (1) 調査地域 | 岩国市全域 |
| (2) 抽出方法 | 岩国市内の高等学校に通学する高校生 |
| (3) 調査方法 | 学校配布・インターネットによる回答 |
| (4) 調査対象 | 2,529 人 |
| (5) 回収数 | 773 人 (30.6%) |
| (6) 調査時期 | 令和6年8月27日～令和6年9月16日 |

3 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 2つ以上の回答(複数回答)を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

Ⅱ 調査結果

1 年齢

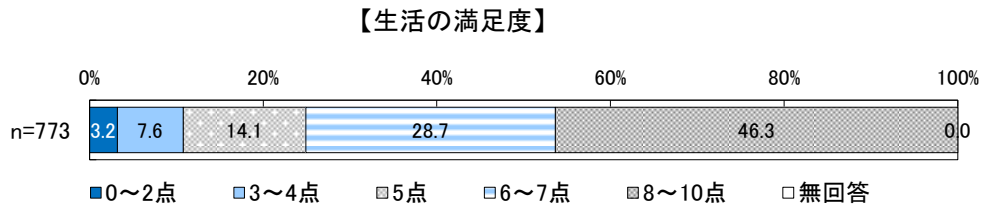


	回答数	割合
10歳代	767	99.2%
20歳代	2	0.3%
30歳代	1	0.1%
40歳代以上	1	0.1%
無回答	2	0.3%
全体	773	100.0%

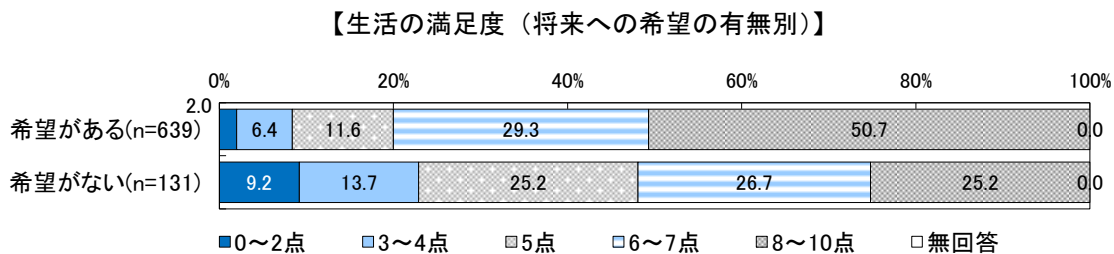
2 生活の満足度

(1) 生活の満足度

問2 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。【1つだけに○】



生活の満足度について、「8～10点」と回答した割合が46.3%、「0～2点」と回答した割合が3.2%であり、平均7.1点となっている。

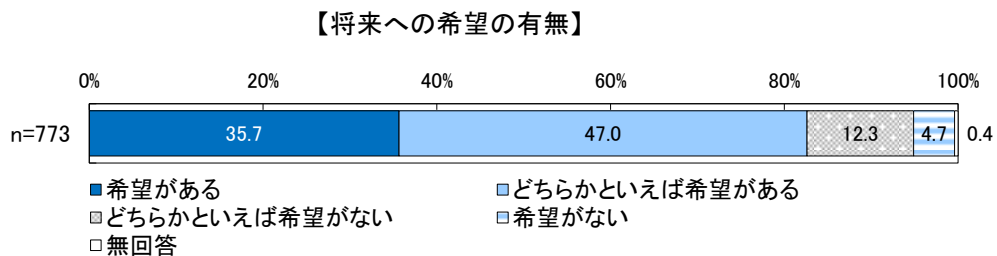


将来への希望の有無別にみると、「8～10点」と回答した割合は、将来への希望がない層で2割台となっている。

3 将来への希望

(1) 将来への希望の有無

問3 あなたは、自分の将来について希望を持っていますか。【1つだけに○】

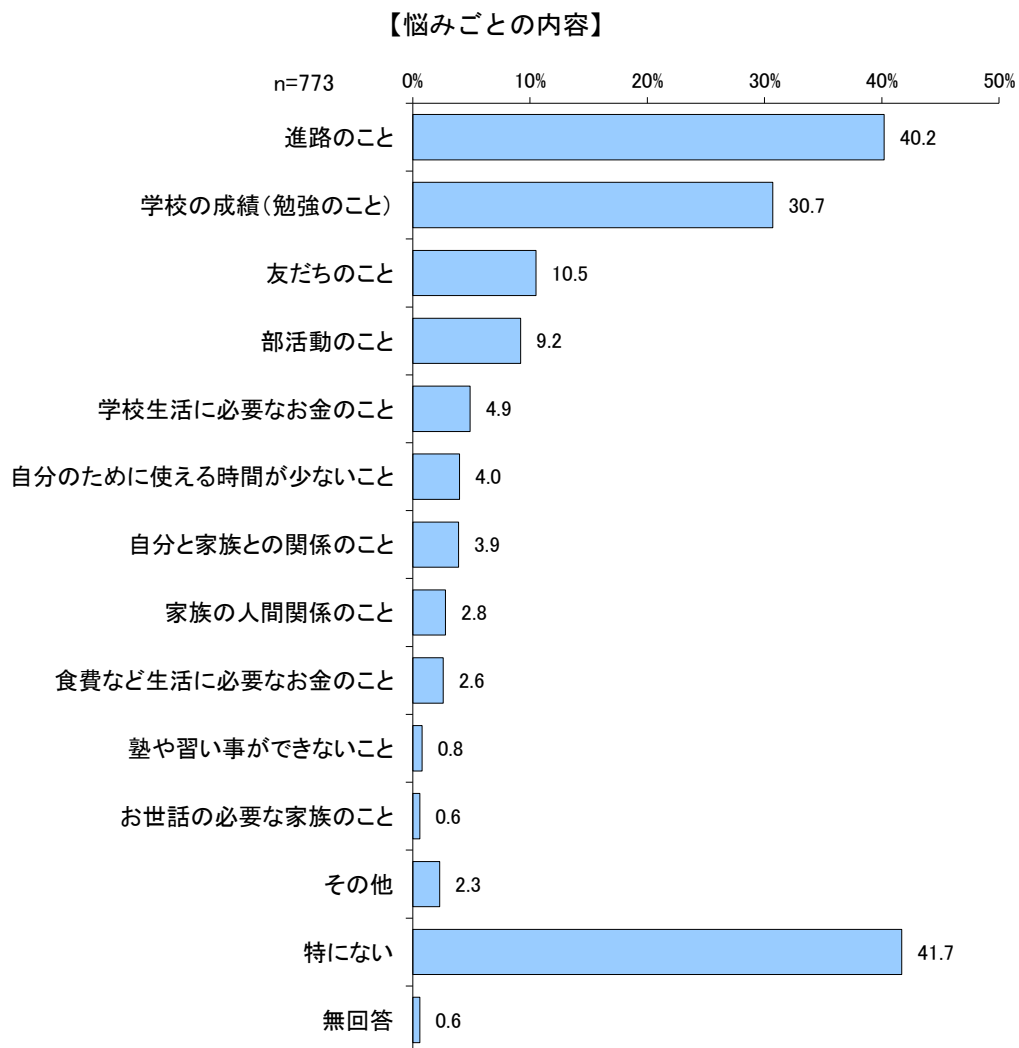


将来への希望の有無について、『希望がある』（「希望がある」＋「どちらかといえば希望がある」）と回答した割合が82.7%、『希望がない』（「希望がない」＋「どちらかといえば希望がない」）と回答した割合が17.0%となっている。

4 相談について

(1) 悩みごとの内容

問4 あなたは今、悩んだり困ったりしていることはありますか。【あてはまるすべてに○】

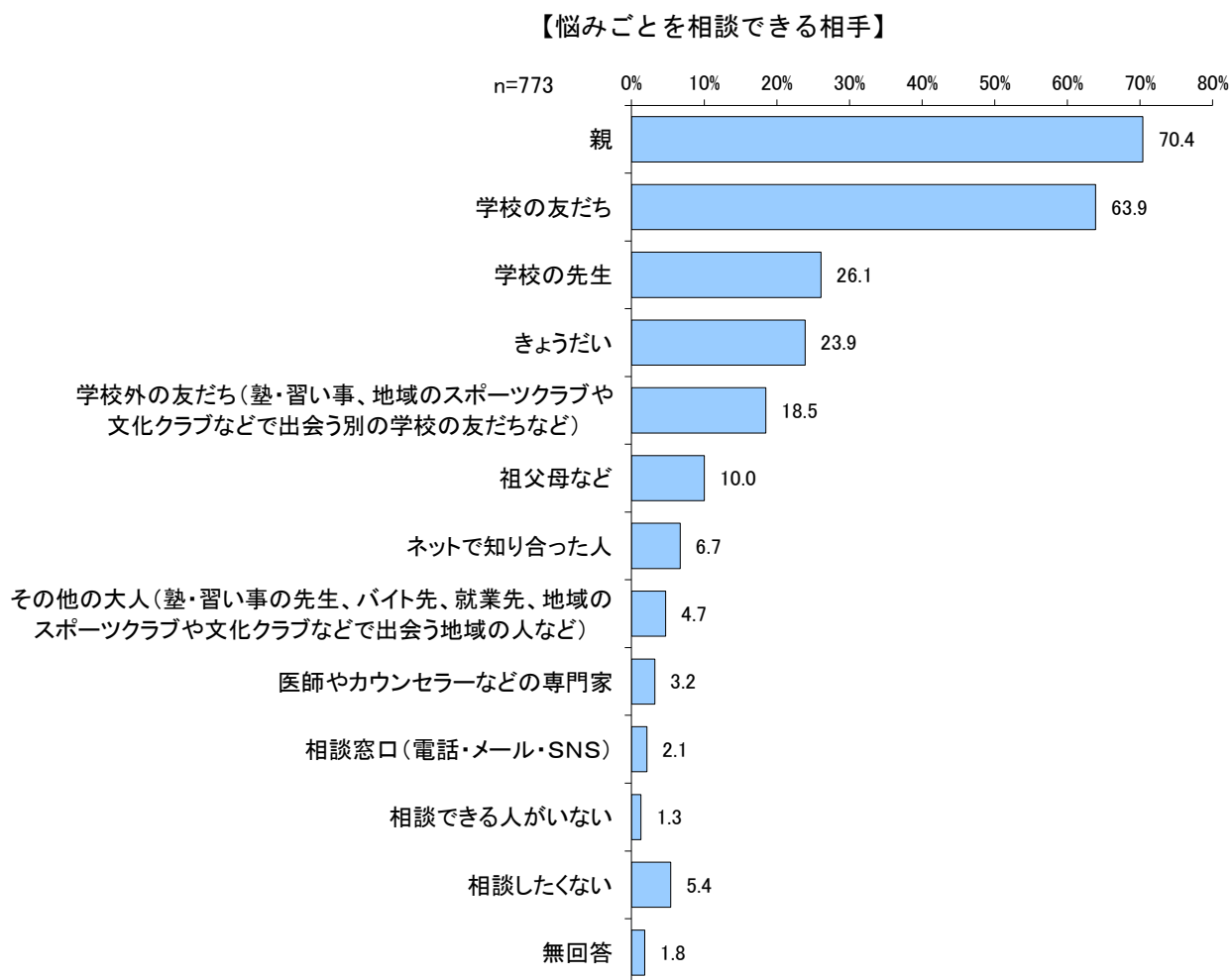


悩みごとの内容について、「進路のこと」と回答した割合が 40.2%と最も高く、次いで「学校の成績(勉強のこと)」(30.7%) となっている。

また、「特にない」と回答した割合が 41.7%となっている。

(2) 悩みごとを相談できる相手

問5 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。【あてはまるすべてに○】

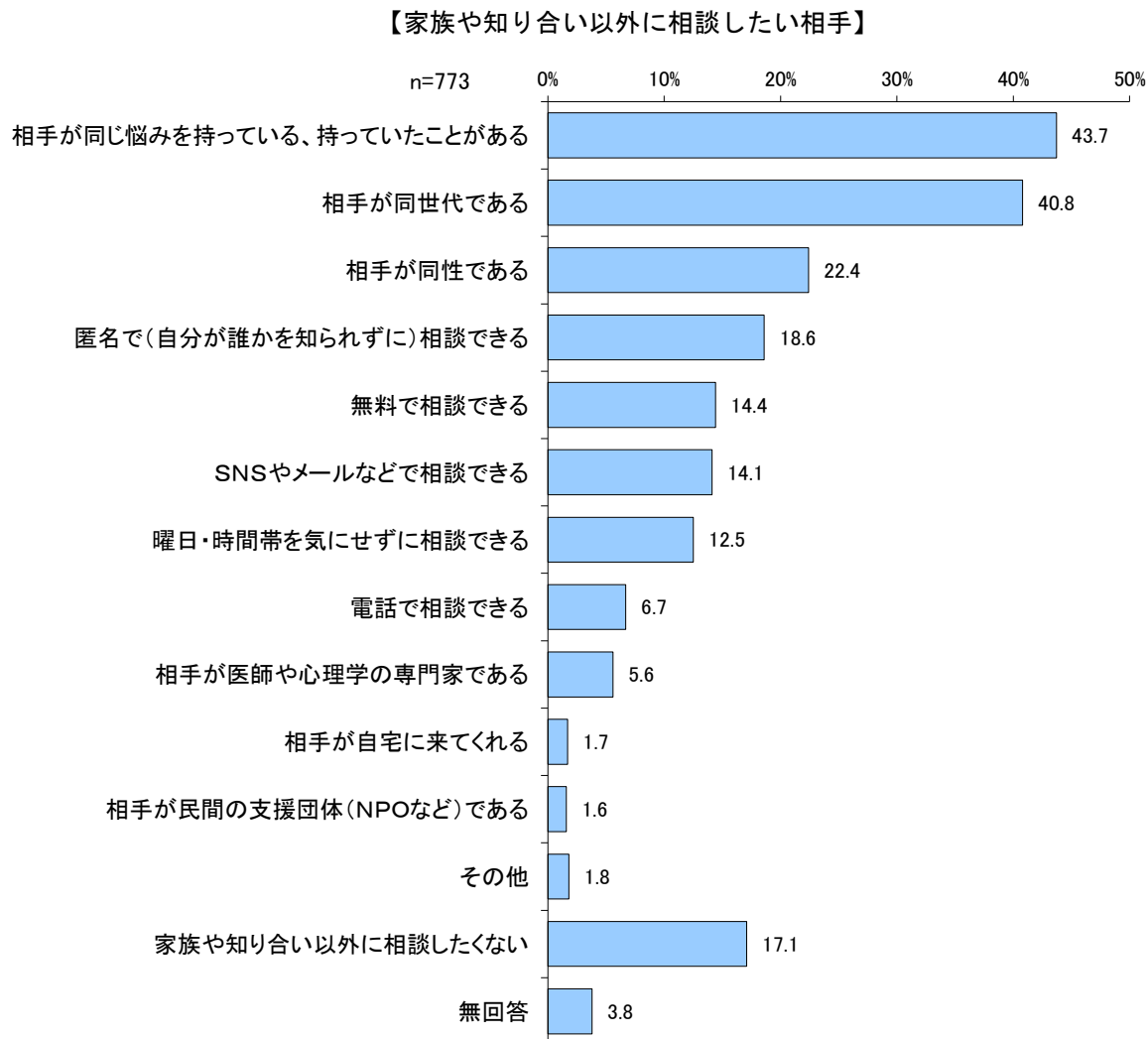


悩みごとを相談できる相手について、「親」と回答した割合が70.4%と最も高く、次いで「学校の友だち」(63.9%)となっている。

(3) 家族や知り合い以外に相談したい相手

問6 あなたが、社会生活や日常生活に影響があるようなつらい経験があった際に、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。

【あてはまるすべてに○】



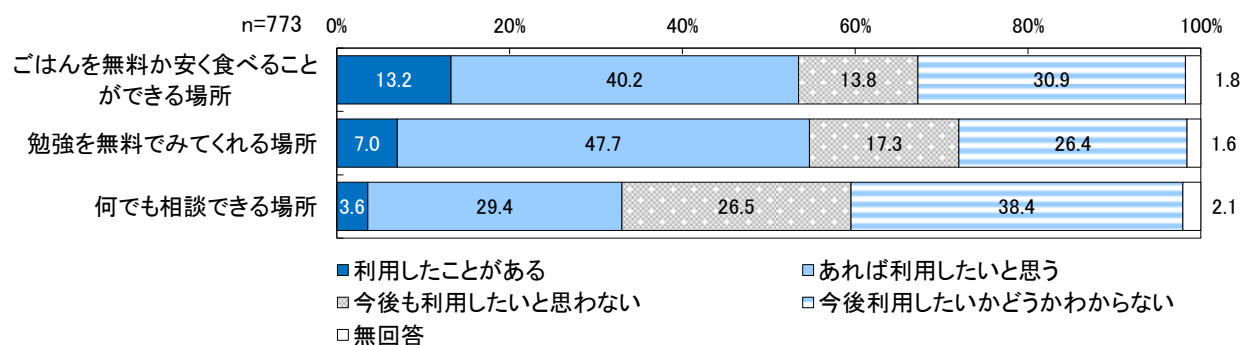
家族や知り合い以外に相談したい相手について、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」と回答した割合が43.7%と最も高く、次いで「相手が同世代である」(40.8%)となっている。

5 子どもの居場所について

(1) 子どもの居場所の利用状況

問7 あなたは、次のa～cのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。【a)～c) あてはまる数字それぞれに○】

【子どもの居場所の利用状況】

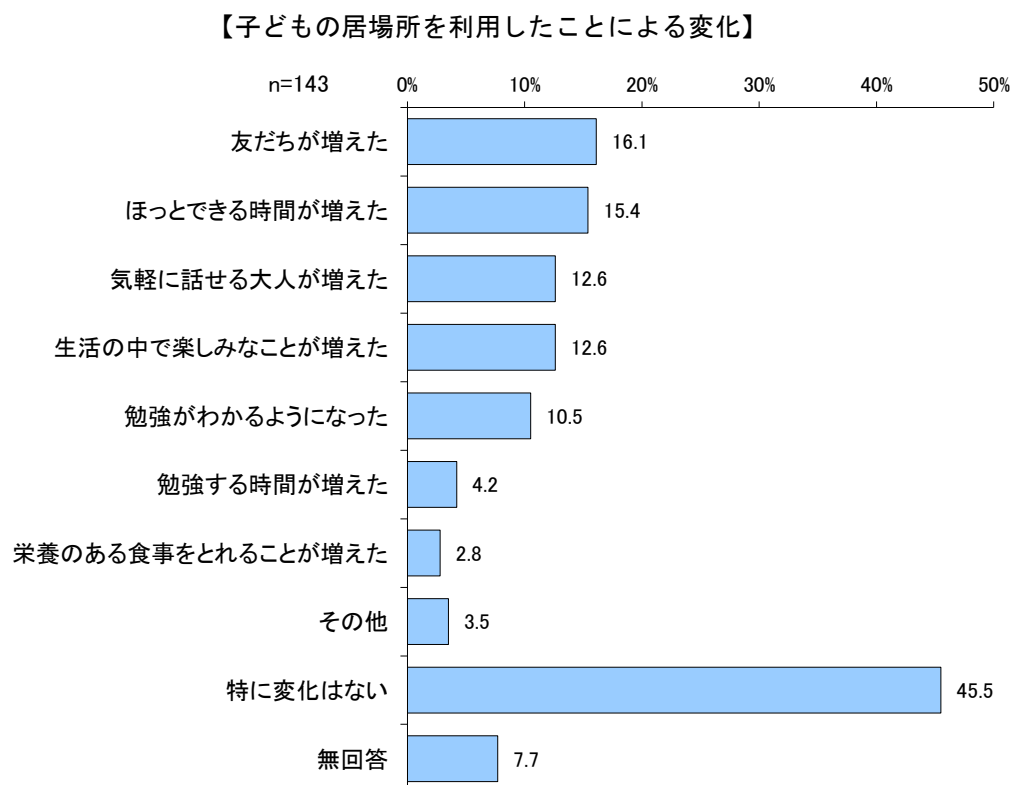


子どもの居場所の利用状況について、「利用したことがある」と回答した割合は、「ごはんを無料か安く食べることができる場所」が 13.2%、「勉強を無料でみてくれる場所」が 7.0%、「何でも相談できる場所」が 3.6%となっている。

(2) 子どもの居場所を利用したことによる変化

問7で1つでも「1 利用したことがある」と回答した人のみ回答

問7-1 そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。【あてはまるすべてに○】



子どもの居場所を利用したことによる変化について、「友だちが増えた」と回答した割合が16.1%と最も高く、「ほっとできる時間が増えた」(15.4%)、「気軽に話せる大人が増えた」、「生活の中で楽しみなことが増えた」(12.6%)、「勉強がわかるようになった」(10.5%)が続いている。

また、「特に変化はない」と回答した割合が45.5%となっている。